

		環境教育学専攻		専攻必修科目		
<b>環境教育学演習 I</b> <b>Seminar on Environmental Management I</b>		1年	通年	2単位	必修	演習
		担当者(部屋番号)				
		藤田、井口、田村、柏谷、関(智)、藤 (763, 814, 736, 112, 752, 751)				
<b>【 授 業 目 標 】</b>						
<p>本演習は、大学院で環境科学の研究および課題研究を行うための基礎的なアカデミック・スキルの向上を目指すワークショップ式連続講座と各研究室におけるゼミ指導の二つからなるもの。ワークショップ式連続講座は、各院生がそれぞれのゼミ担当教員のもと研究目的を絞り込む前の必修演習として位置づけられており、修士レベルの環境科学の研究を行うための基礎的な学術の知識と技能を修得させることを目標としたもの。</p>						
<b>【 授 業 方 法 】</b>						
<p>授業は主として環境科学研究科の複数教員によるオムニバス形式で実施されるもので、講義やディスカッション、課題、実践などを盛り込んだ形式で行う。後半のゼミ指導は各研究室単位で行われる。</p>						
<b>【 授 業 計 画 】</b>						
各演習の計画・時間配分は、各担当教員によって構成されるが、大まかなテーマは次のとおり。						
ウ ー ク シ ョ ッ プ 式 連 続 講 座	1. 研究方法 概要 (担当：井口先生)					
	2. 研究論文の信頼性と妥当性 (担当：井口先生)					
	3. 研究計画とは？ 組み方と計画書の書き方 (担当：藤 公晴)					
	4. 修士論文の作成プロセス (担当：藤 公晴)					
	5. 論文の構成：章とは？ 節とは？ 段落とは？ 考察とは？ (担当：田村先生)					
	6. 研究助成金申請書の書き方 (担当：猟山先生)					
	7. データ収集 (担当：柏谷先生)					
	8. インタビュー (担当：柏谷先生)					
	9. データ分析 統計も (担当：関先生)					
	10. 発表会					
ゼ ミ 指 導	1 1. ～ 3 0. 各ゼミにおける指導 (修士論文に係る準備、テーマの決定、関連事項の調査など) (担当：藤田、田村、柏谷、関(智)、藤、井口各先生)					
教 科 書	各テーマにかかる担当教員によって異なるが、リーディングの課題は前の週に配布する。		評 価 方 法	各担当教員からの評価に基づくが、基本的には各講義内容にかかるレポートの作成などの評価を踏まえて、総合的に判断する。		
参 考 書	同上		留 意 点	同上		